

2007年度秋期日本歯科理工学会 講演会ならびにシンポジウム

本講演会ならびにシンポジウム開催について

称号認定制度認定講習会を兼ねて、2007年10月6日に東京医科歯科大学特別講堂にて、2007年度秋期日本歯科理工学会講演会およびシンポジウムを開催した。当日は100名を超える先生方が熱心に聴講された。素晴らしいご講演をしていただいた宮崎光治先生には心より感謝いたします。講演会については別途報告書が和文誌に掲載されるのでここでの説明は割愛させていただきます。

シンポジウムは、称号認定制度認定講習会を意識し、デンタルマテリアルシニアアドバイザーとして大山貴司先生、高田恒彦先生にご参加をいただいた。また、企業代表としてトクヤマデンタル開発企画部の相澤将之先生、大学代表として日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学

講座教授の池見宅司先生に御講演をお願いした。演題は、審美材料 ―いかにしたら希望の色が出せるか―である。各先生とも、大変貴重な御講演であり皆様熱心に聴講され、ディスカッションも大変熱のこもったもので活発でした。お仕事でお忙しい中御講演いただいたシンポジストの先生方には、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

本企画は、鈴木一臣企画委員長より、称号認定審査委員会が委託され立案しました。称号認定審査委員会の各先生方はもとより、特に中心となり御尽力いただいた、称号認定審査委員会副委員長の小田豊先生には心よりお礼申し上げます。また、会場のお手配、設営等にご協力いただいた関係各位の先生方に感謝いたします。

日本歯科理工学会称号認定審査委員会

委員長 榎本 貢三

プログラム

講演会：14：40～15：30

座 長：宮崎 隆 会長

講 師：宮崎 光治 先生

(前福岡歯科大学医療工学講座教授；本学会名誉会員)

演題名：歯科材料器械の変遷

シンポジウム：15：40～17：10

座 長：榎本 貢三 先生 (称号認定審査委員会委員長)

題 名：審美材料 ―いかにしたら希望の色が出せるか―

シンポジスト：

15：40～15：55 相澤 将之 先生

(トクヤマデンタル開発企画部主席)

15：55～16：10 池見 宅司 先生

(日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座教授)

16：10～16：25 大山 貴司 先生

(シニアアドバイザー；大山歯科クリニック)

16：25～16：40 高田 恒彦先生

(シニアアドバイザー；たかだ歯科クリニック)

16：45～17：10 総合討論